

組番

氏名

出来る限り速く書いてみよう！

漢字バージョン

明

←

困

←

板

←

消

←

ひらがなバージョン

ありがとう

←

くださる

←

実際にどう書くのかは次回のプリントで！

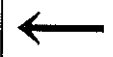
組番氏名

[Blank box for name and group number]

答えをまねて書いてみよう！ 2回ずつ

漢字バージョン

明



[Blank box for copying]

[Blank box for copying]

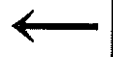
固



[Blank box for copying]

[Blank box for copying]

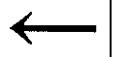
板



[Blank box for copying]

[Blank box for copying]

消



[Blank box for copying]

[Blank box for copying]

ひらがなバージョン

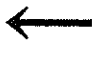
あつかわらう



[Blank box for copying]

[Blank box for copying]

くたふん



[Blank box for copying]

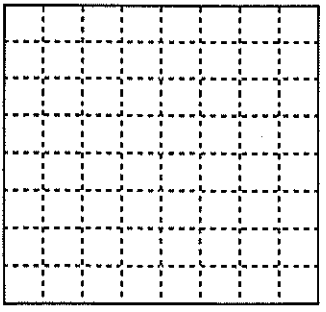
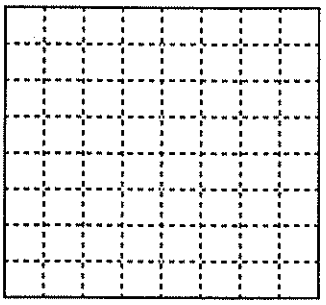
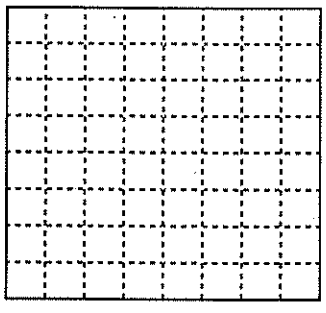
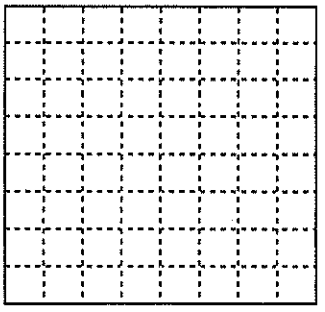
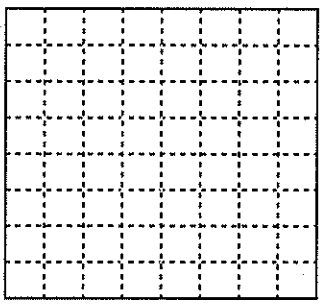
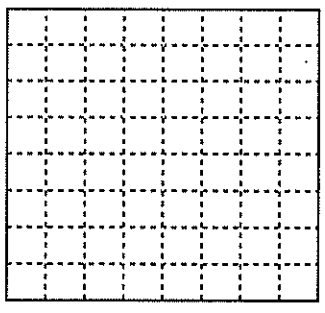
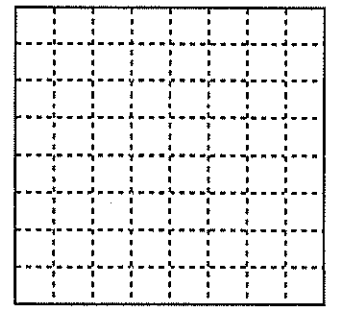
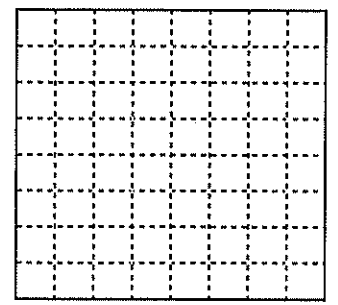
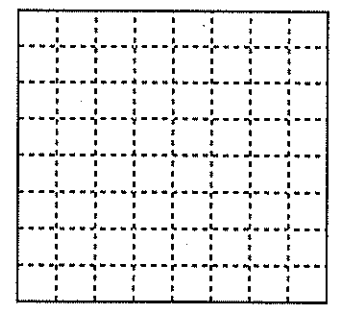
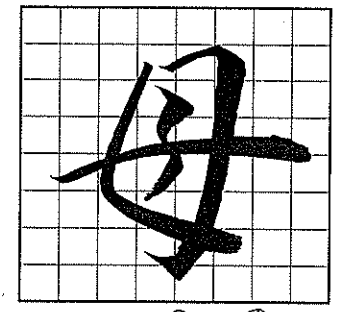
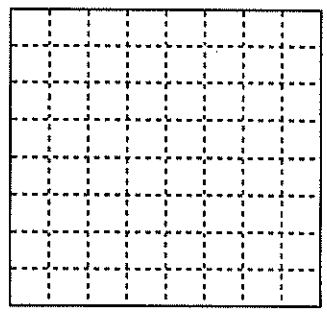
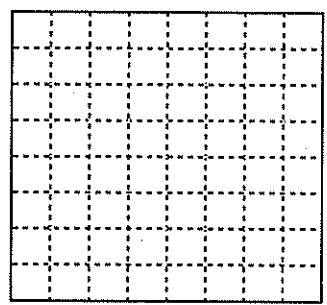
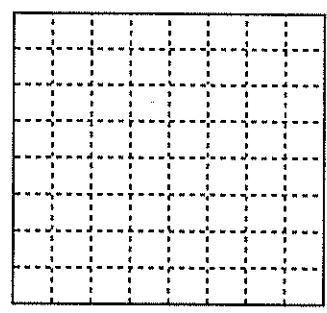
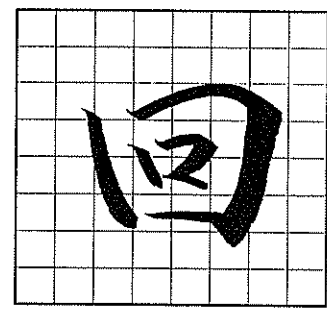
[Blank box for copying]

組番氏名

曲線化

行書の大きな特徴の一つが、この曲線化です。行書では全体的に丸みを持たせて書くことがポイントです。ですから、楷書の時に反ったりしていた部分が、逆に丸い印象になっていたりします。特に、折れの部分は特徴的です。意識して書いてみましょう。

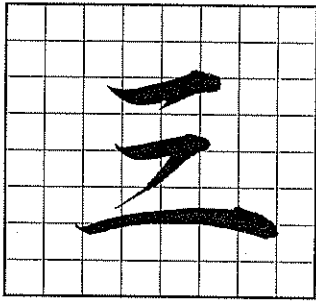
※最初の一画目をどこから書くのか…大切ですよ!!



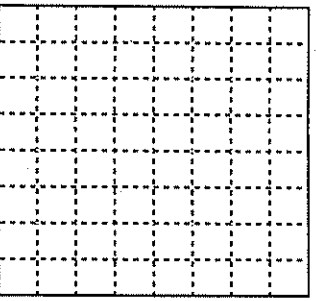
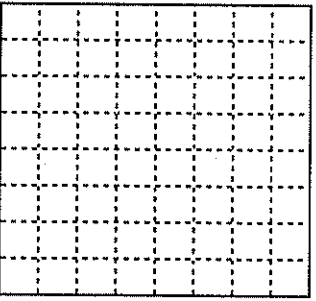
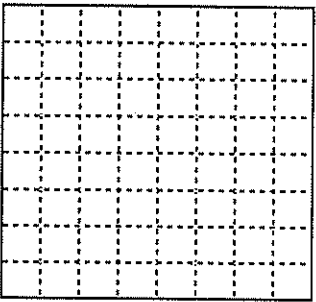
組
番
氏名

筆脈の連続

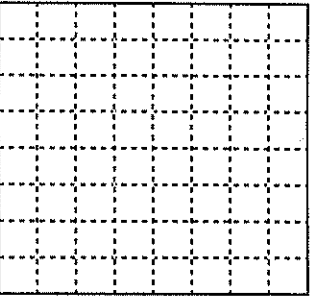
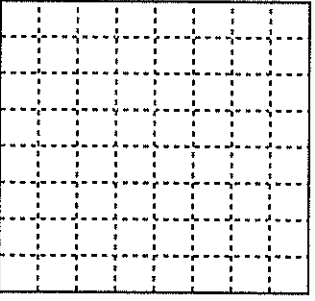
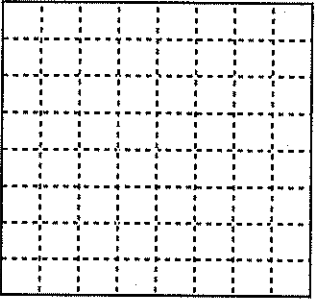
速く書く行書の場合、連続させて書くことは必要なことです。まず、筆脈の連続と言って、横画から横画。縦画から縦画。と言った様に、次の画への最短距離を通して書くことで、速く書くことにつながります。本来、画のない部分に連続線が出てきます。お手本をよく見て、どうつながっているのか注意してみてください。



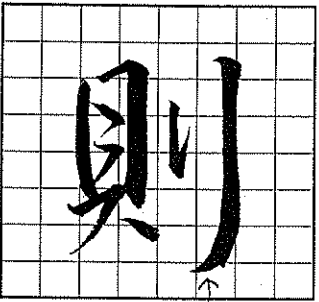
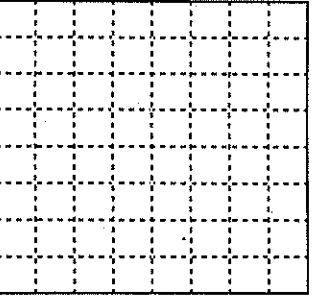
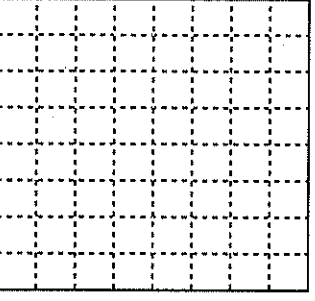
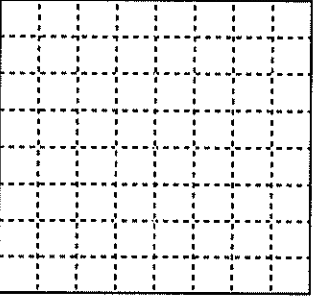
次にポイント行か
意識しよう!



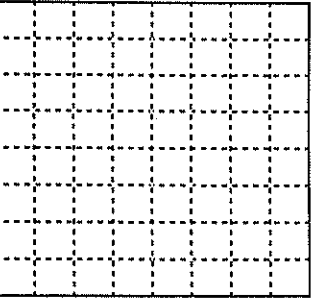
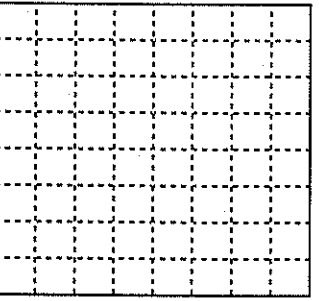
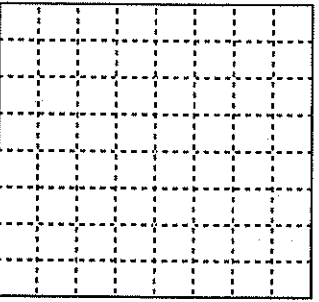
どこがつながるのか
よー見こ!



①→②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪理



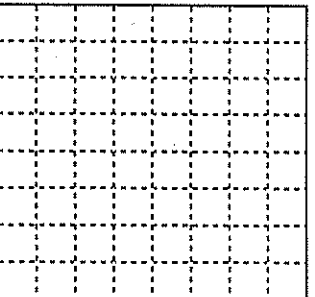
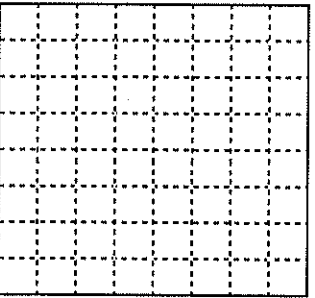
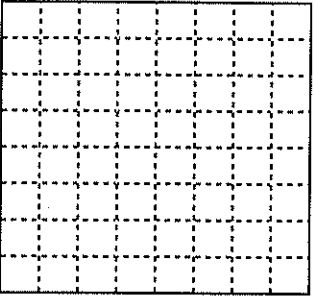
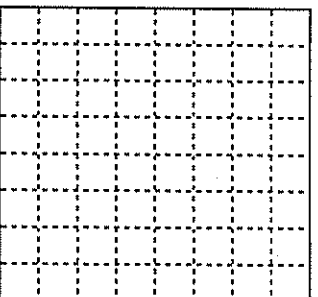
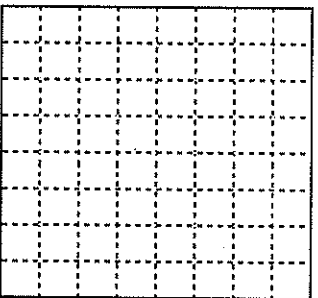
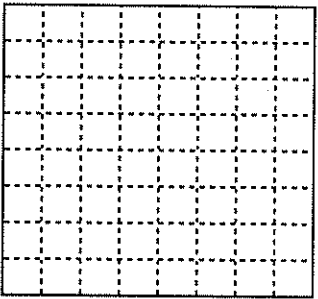
ポイントは
スーッと!



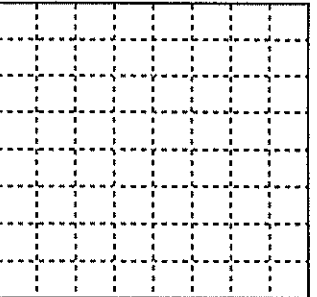
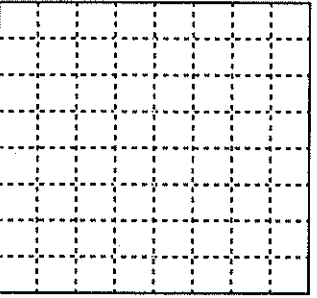
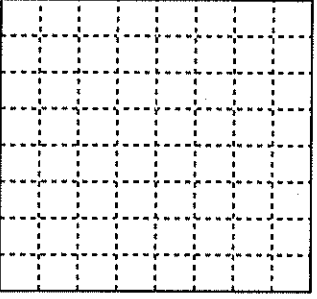
組
番
氏名

直説連続

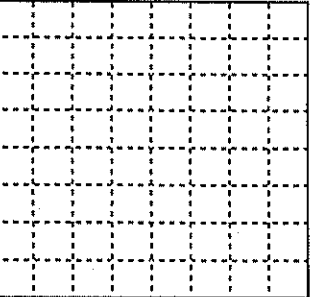
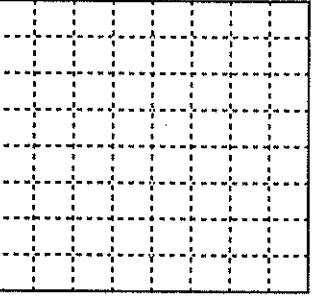
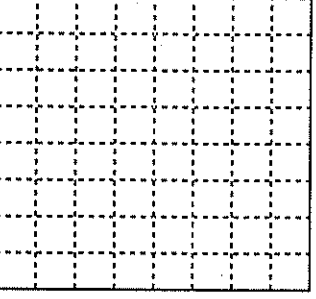
速く書く行書の場合、連続させて書くことは必要なことです。今度は、直接連続と言って、一画目と二画目がつながったり、横画から左払いに直接つなげて書くような場合を言います。要するに画の終わりと次の画の始めが直接つながるような書き方です。これもお手本をよく見て、どうつながっているのか注意してみましょう。



どのまじで1画で
かゝるか(い)か見よう!



ネ→^①目^②身

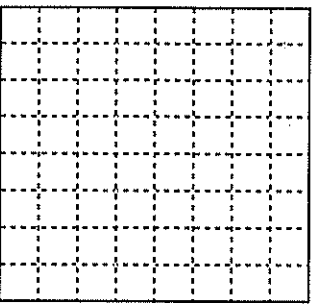
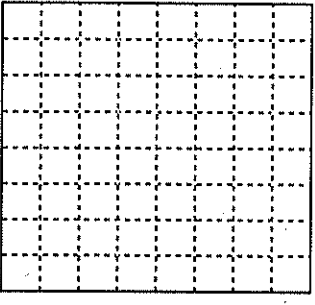
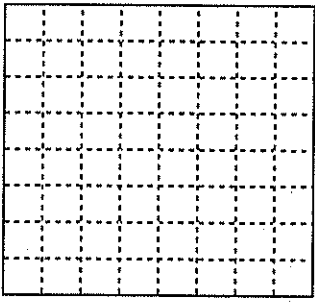
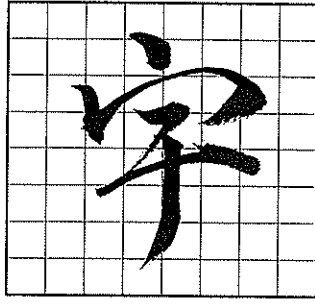
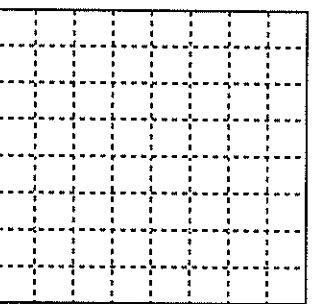
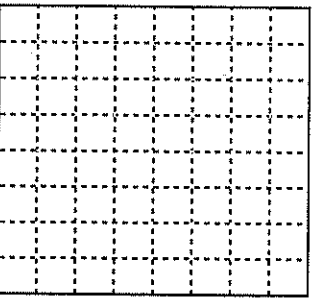
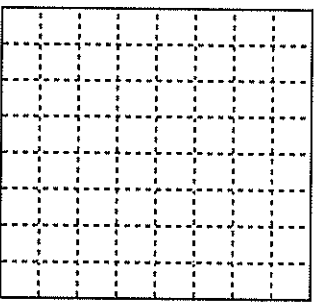
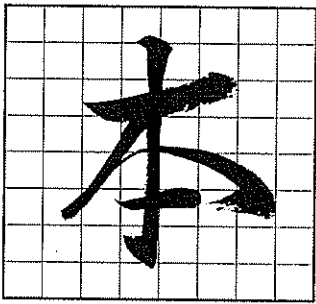


①ヶ②ヶ③ヶ④ヶ
⑤ヶ⑥進

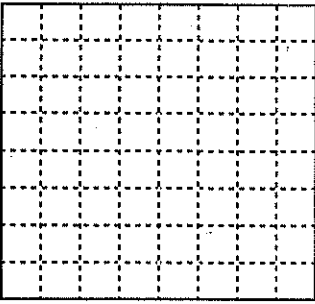
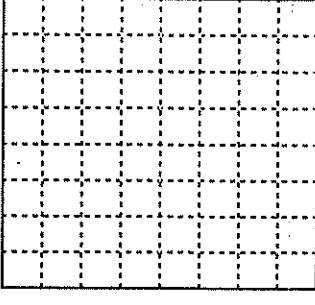
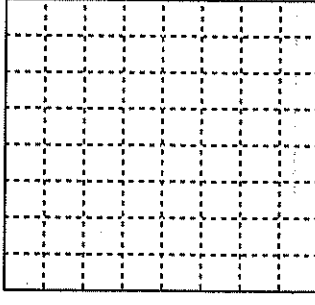
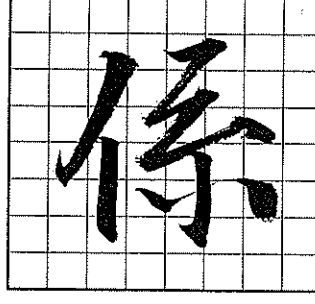
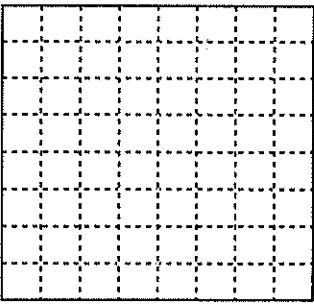
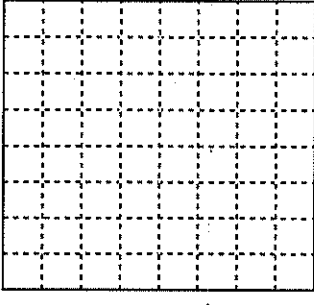
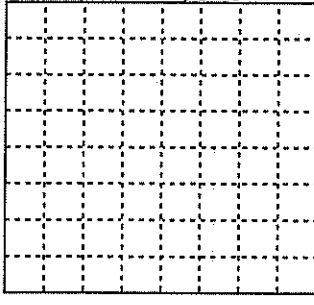
組
番
氏名

点画の形や方向の変化

行書では、速く書かなければならないのですから、次の画へ速く移るために、点画の形が変わったり、方向が変わったりすることがあります。たとえば、本という字は楷書では払いだった所が、行書では内側へのハネになったりします。どんな変化があるかは、お手本をよく見て書いてみましょう。



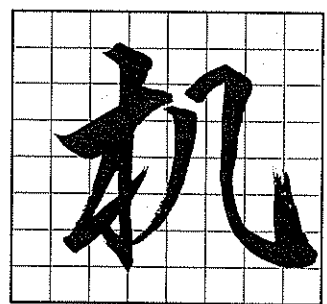
見 → 見
少し形が変わるよ!



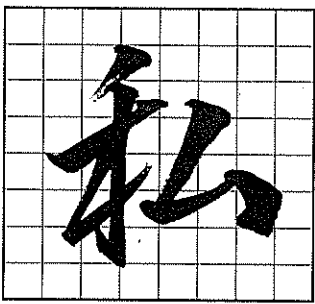
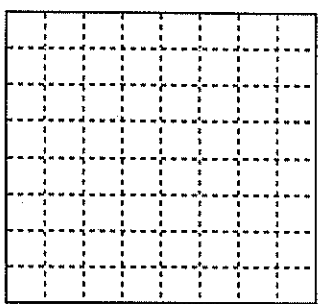
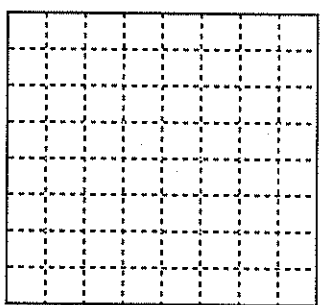
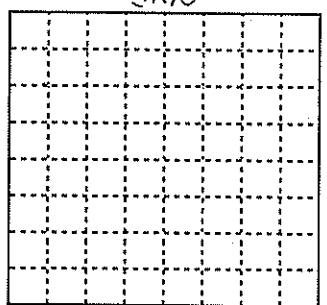
組番氏名

点画の省略

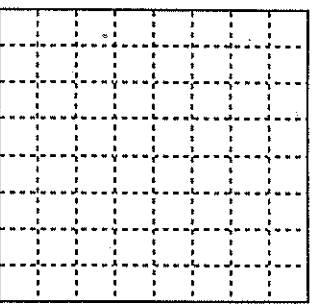
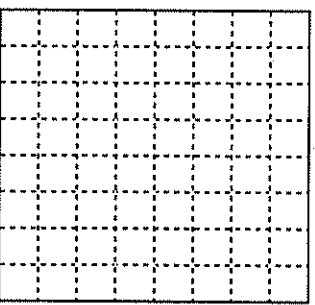
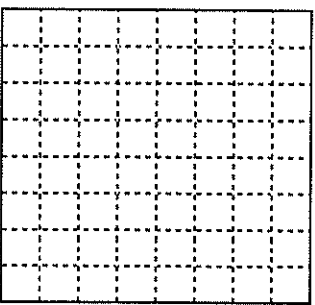
行書では、点画が省略される場合があります。速く美しく書くためには、省略は必要です。ただし、この省略の仕方には、決まりがありますので、注意しましょう。省略されるということは、書かない画ができるということです。お手本をよく見て書いてみましょう。



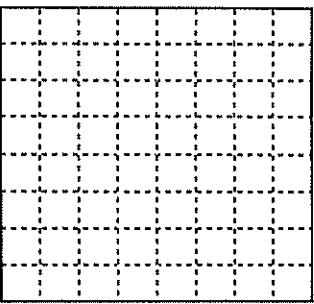
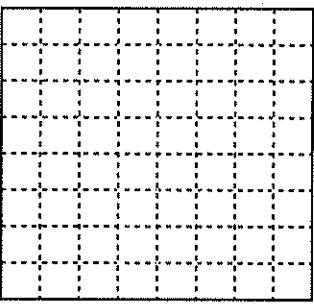
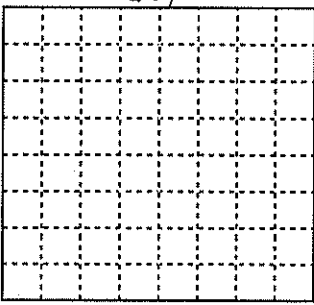
木 → 本
きん



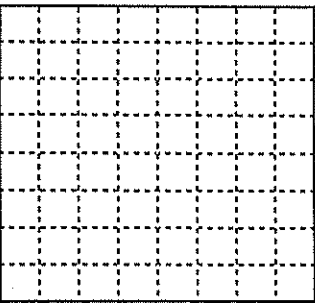
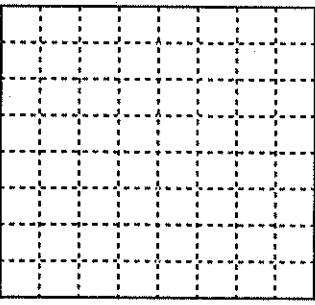
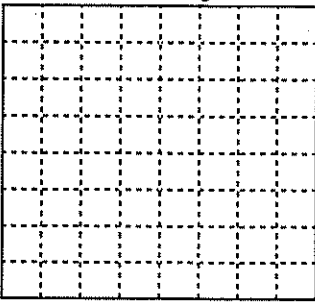
禾 → 禾
あきん



辶 → 辶
せん



言 → 言
ごん



いろは歌

いろはにほへと
 ちりぬるを
 わかよたれそ
 つねならむ
 うゐのおくやま
 けふこえて
 あさきゆめみし
 ゑひもせず

いろは歌は五十音が出来ると前に、当時の日本の仮名(ひらがな)47文字を全て1回ずつ使って作られた歌である。2段目は1段目のものに漢字と濁点を当てて作ったものである。

色はにほへと
 散りぬるを
 我が世たれぞ
 常ならむ
 有為の奥山
 今日越えて
 浅き夢見じ
 酔ひもせず

組 番

氏名

色はにほへと

散りぬるを

我が世たれぞ

常ならむ

組 番 氏名

--

いろは歌

色はにほへど

--	--

散りぬるを

--	--

我が世たれぞ

--	--

常ならむ

--	--

有為の奥山

--	--

今日越えて

--	--

浅き夢見じ

--	--

酔ひもせず

--	--